



2023年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月2日

上場会社名 マブチモーター株式会社
 コード番号 6592 URL <https://www.mabuchi-motor.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長COO (氏名) 谷口 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理・財務担当 (氏名) 萩田 敬一
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 047-710-1127

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	129,086	12.7	8,807	18.6	20,036	0.4	15,364	7.9
2022年12月期第3四半期	114,568	13.1	7,428	33.2	20,113	29.5	14,243	29.9

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 38,708百万円 (8.9%) 2022年12月期第3四半期 42,497百万円 (79.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	237.69	237.63
2022年12月期第3四半期	219.84	219.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	338,873	308,836	91.1
2022年12月期	307,786	280,175	91.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 308,773百万円 2022年12月期 280,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		67.00		68.00	135.00
2023年12月期		67.00			
2023年12月期(予想)				83.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 配当金の内訳

2022年12月期特別配当 第2四半期末52円00銭 期末53円00銭
 2023年12月期(予想)特別配当 第2四半期末52円00銭 期末53円00銭
 2023年12月期(予想)記念配当 第2四半期末 - 円 - 銭 期末15円00銭

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	173,000	10.4	13,000	20.1	21,100	1.7	16,200	13.3	250.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	67,076,362 株	2022年12月期	67,076,362 株
期末自己株式数	2023年12月期3Q	2,711,717 株	2022年12月期	2,442,888 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	64,643,785 株	2022年12月期3Q	64,789,733 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づいております。
また、業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報)	P. 10
(収益認識関係)	P. 11
(重要な後発事象)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年9月30日）における世界経済は、新型コロナウイルスの感染予防対策の緩和による経済活動の正常化が進んだものの、資源価格の高止まり及び物価上昇による消費低迷の影響により、経済活動の回復は緩やかなものに留まりました。米国経済は、資源価格の高止まり等の影響によるインフレの進行が鈍化したものの、底堅い雇用及び所得環境を背景に個人消費が堅調に推移したこと等により、緩やかに回復しました。欧州経済は、資源価格の高止まり等によるインフレ及び各国の利上げに伴う個人消費の低迷等の影響により、経済活動の停滞が見られました。我が国経済は、インフレ進行の影響はあったものの、感染予防対策の緩和による経済活動の正常化により緩やかに回復しました。新興国経済は、中国経済がゼロコロナ政策の解除に伴う個人消費回復の息切れや不動産市場の悪化等の要因が重なり、全体として緩やかな回復に留まりました。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は、半導体等の供給制約の緩和により自動車生産が回復した一方で、各国のインフレに伴う個人消費の低迷等の影響が見られました。ライフ・インダストリー機器市場は、インフレに伴う個人消費の低迷、及び一部の用途における巣ごもり需要の衣服等により、全体として減速が見られました。

このような景況下、当社のモーター販売実績は、数量では前年同期比0.1%の増加、金額では前年同期比12.6%の増加となりました。これらの結果、当第3四半期売上高は、1,290億8千6百万円（前年同期比12.7%増）となり、その大半を占めるモーター売上高は、1,290億4千8百万円（前年同期比12.6%増）となっております。

営業利益につきましては、為替レートが前年同期と比べ円安で推移したことや売価・プロダクトミックスの改善等の増益要因が、コストアップ等による減益要因を上回り、88億7百万円（前年同期比18.6%増）となりました。経常利益は、営業利益が増加する一方、外貨建資産・負債の期末評価における円安に伴う為替差益が前年同期比で減少したこと等により、200億3千6百万円（前年同期比0.4%減）となりました。税金等調整前四半期純利益は206億3千6百万円（前年同期比5.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は153億6千4百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

次に、モーターの用途別市場動向と販売状況についてご説明いたします。

① 自動車電装機器市場

売上高は1,006億7千3百万円（前年同期比18.9%増）と増加しました。中型電装用途では、パワーウインドウ、パワーシート及びパーキングブレーキ用の各用途が半導体等の供給制約の緩和による自動車生産の回復等の影響を受け増加しました。小型電装用途では、ミラー、ドアロック、エアコンダンパー及びヘッドライト用の各用途が同様に自動車生産の回復の影響を受け増加しました。

② ライフ・インダストリー機器市場

売上高は283億7千5百万円（前年同期比5.2%減）と減少しました。健康・医療用は、第2四半期より損益上連結対象となったマブチオーケンの売上が寄与し増加した一方で、家電・工具・住設用は、インフレに伴う個人消費の低迷及び物流の正常化に伴う在庫調整により減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に対して310億8千7百万円増加し、3,388億7千3百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、現金及び預金の増加129億5千5百万円、有形固定資産の増加118億8千6百万円、受取手形及び売掛金の増加64億2千1百万円等であります。

負債合計は、前連結会計年度末に対して24億2千6百万円増加し、300億3千7百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、繰延税金負債の増加7億3千1百万円、支払手形及び買掛金の増加5億1千7百万円等であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に対して286億6千万円増加し、3,088億3千6百万円となりました。為替換算調整勘定が223億3千3百万円増加、利益剰余金が65億4千1百万円増加しました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

世界経済は、各国における高インフレの継続とその抑制のための政策金利の引き上げ及び中東情勢緊迫化による原油価格高騰の影響等による経済活動の停滞が見込まれ、景気の減速が懸念されます。米国経済は、物価上昇とその抑制のための利上げ及び学生ローンの返済再開の影響による個人消費の鈍化が見込まれます。欧州経済は、引き続き高インフレとその抑制のための利上げの影響はあるものの、エネルギー価格の衣服によりインフレ圧力が低下し、個人消費の緩やかな回復が見込まれます。我が国経済は、資源価格の高止まりやインフレの影響による家計の負担増が個人消費の制約となる一方、感染予防対策の緩和による経済活動の正常化により緩やかな回復が見込まれます。新興国経済は、中国経済が個人消費の回復の弱さ等の影響により成長ペースは鈍く、世界的なインフレ影響等により新興国全体としての成長ペースは鈍化する見通しです。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は、半導体等の供給不足による生産への影響が緩和され回復が見込まれるものの、各国における高インフレとその抑制のための利上げによる需要の減退等の影響により回復の力強さを欠き、依然見通しに不透明感があります。ライフ・インダストリー機器市場は、健康・医療機器用の安定的な需要の持続等を背景に全体として堅調な需要を見込むものの、個人消費の減速により家電・工具・住設用及び事務機器用の需要は低調となる見通しです。

このような状況から、連結業績予想及び配当予想につきましては、変更を行っておりません。なお、本日（2023年11月2日付）、「営業外収益（為替差益）の計上に関するお知らせ」にて公表のとおり、当第3四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年9月30日）において、為替差益78億4千3百万円を営業外収益に計上いたしておりますが、為替差益の額は今後の為替相場の状況により変動することを踏まえ、予想を据え置いております。

（注）上記の業績予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいております。業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下のとおりであります。

- ・ 為替相場の変動
- ・ 当社の事業領域を取り巻く経済環境・需要動向等の変化
- ・ 新技術・新製品等の急速な技術革新
- ・ 銅・鋼材・レアアース等の相場の変動

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	101,612	114,568
受取手形及び売掛金	28,944	35,366
有価証券	1,500	—
商品及び製品	40,628	38,571
仕掛品	1,270	1,996
原材料及び貯蔵品	19,494	20,389
その他	7,304	7,173
貸倒引当金	△201	△107
流動資産合計	200,554	217,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	57,540	62,488
減価償却累計額	△34,938	△38,578
建物及び構築物 (純額)	22,601	23,910
機械装置及び運搬具	97,714	114,518
減価償却累計額	△56,319	△68,240
機械装置及び運搬具 (純額)	41,394	46,277
工具、器具及び備品	24,439	28,282
減価償却累計額	△20,595	△24,440
工具、器具及び備品 (純額)	3,843	3,841
土地	6,726	7,125
建設仮勘定	15,819	21,116
有形固定資産合計	90,386	102,272
無形固定資産		
のれん	2,853	3,037
その他	2,624	2,637
無形固定資産合計	5,477	5,674
投資その他の資産		
投資有価証券	9,064	10,519
繰延税金資産	707	692
その他	1,627	1,788
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	11,367	12,968
固定資産合計	107,231	120,915
資産合計	307,786	338,873

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,989	8,506
未払法人税等	1,359	1,515
賞与引当金	198	684
役員賞与引当金	214	183
その他	11,680	12,166
流動負債合計	21,442	23,056
固定負債		
長期借入金	1,112	1,003
株式等給付引当金	110	181
退職給付に係る負債	1,449	1,501
資産除去債務	28	28
繰延税金負債	3,070	3,801
その他	397	463
固定負債合計	6,169	6,980
負債合計	27,611	30,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,704	20,704
資本剰余金	20,419	20,419
利益剰余金	222,620	229,161
自己株式	△10,389	△11,607
株主資本合計	253,355	258,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,205	3,263
為替換算調整勘定	24,318	46,651
退職給付に係る調整累計額	225	178
その他の包括利益累計額合計	26,749	50,093
新株予約権	69	62
純資産合計	280,175	308,836
負債純資産合計	307,786	338,873

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	114,568	129,086
売上原価	87,734	98,892
売上総利益	26,834	30,193
販売費及び一般管理費	19,405	21,386
営業利益	7,428	8,807
営業外収益		
受取利息	555	1,573
受取配当金	199	182
為替差益	10,445	7,843
スクラップ材料売却収入	1,645	1,557
その他	355	572
営業外収益合計	13,200	11,730
営業外費用		
株式関係費	134	147
減価償却費	130	135
その他	249	218
営業外費用合計	515	500
経常利益	20,113	20,036
特別利益		
固定資産処分益	4	6
投資有価証券売却益	—	208
ゴルフ会員権売却益	3	—
負ののれん発生益	—	659
退職給付制度改定益	—	113
特別利益合計	7	987
特別損失		
固定資産処分損	408	233
臨時退職金	208	154
ゴルフ会員権売却損	0	—
特別損失合計	616	388
税金等調整前四半期純利益	19,504	20,636
法人税等	5,261	5,271
四半期純利益	14,243	15,364
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,243	15,364

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	14,243	15,364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△355	1,058
繰延ヘッジ損益	3	—
為替換算調整勘定	28,507	22,333
退職給付に係る調整額	98	△47
その他の包括利益合計	28,254	23,344
四半期包括利益	42,497	38,708
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,497	38,708
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2023年8月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式331,500株(取得価額1,504百万円)を取得いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己株式は11,607百万円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間において、応研精工株式会社(現:マブチモーターオーケン株式会社)の株式を取得したため、同社並びにその子会社である株式会社オーケン、大連応研精工有限公司(現:万宝至応研精工電子(大連)有限公司)及びオーケンセイコーベトナムカンパニーリミテッド(現:マブチモーターオーケンベトナムカンパニーリミテッド)を連結の範囲に含めております。

なお、当社の連結子会社であった株式会社オーケンは、2023年7月1日付で当社の連結子会社であるマブチモーターオーケン株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(退職給付制度の改定)

当社は2023年4月1日に退職給付制度の改定を行い、確定給付企業年金制度の一部を企業型確定拠出年金制度へ移行しました。

本制度の移行に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号)を適用しております。本移行に伴う影響額は、当第3四半期連結累計期間の特別利益として113百万円計上しております。

(株式分割及び定款の一部変更)

当社は2023年8月10日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことを決議いたしました。

1. 株式分割の目的

株式分割を行い、投資単位当たりの金額を引下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2023年12月31日(実質的には2023年12月29日)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する当社普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	67,076,362株
今回の分割により増加する株式数	67,076,362株
株式分割後の発行済株式総数	134,152,724株
株式分割後の発行可能株式総数	400,000,000株

3. 日程

基準日公告日	2023年12月15日
基準日	2023年12月31日
効力発生日	2024年1月1日

4. 定款の一部変更

(1) 定款変更の理由

上記の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2024年1月1日をもって、当社定款第6条の発行可能株式総数を変更いたします。

(2) 定款変更の内容

変更の内容は以下のとおりです。

(下線は変更部分を示します。)

現行定款	変更案
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 2億株とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 4億株とする。

(3) 定款変更の日程

定款変更取締役会決議日	2023年8月10日
定款変更効力発生日	2024年1月1日

5. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり四半期純利益	109.92円	118.85円
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	109.89円	118.82円

6. その他

(1) 資本金の額の変更

今回の株式分割に際し、資本金の額の変更はありません。

(2) 新株予約権の行使価格の調整

当社は、新株予約権(株式報酬型ストックオプション)を複数発行しておりますが、行使価額の調整は行わず1株につき1円とし、調整後の付与株式数については、調整前付与株式数に2を乗じた株数といたします。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
自動車電装機器市場	8,817	37,015	18,974	19,835	84,643	—	84,643
ライフ・インダスト リー機器市場	1,023	19,136	2,139	7,621	29,920	—	29,920
その他	2	1	—	0	4	—	4
顧客との契約から生 じる収益	9,844	56,153	21,114	27,456	114,568	—	114,568
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,844	56,153	21,114	27,456	114,568	—	114,568
セグメント間の内部 売上高又は振替高	63,067	60,842	3,336	74	127,321	△127,321	—
計	72,911	116,996	24,450	27,531	241,889	△127,321	114,568
セグメント利益又は損失 (△)	△474	7,223	△282	△103	6,362	1,065	7,428

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
自動車電装機器市場	11,054	40,609	24,864	24,144	100,673	—	100,673
ライフ・インダスト リー機器市場	1,552	18,368	1,484	6,969	28,375	—	28,375
その他	9	26	—	2	37	—	37
顧客との契約から生 じる収益	12,616	59,004	26,349	31,115	129,086	—	129,086
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,616	59,004	26,349	31,115	129,086	—	129,086
セグメント間の内部 売上高又は振替高	66,189	63,127	4,105	93	133,516	△133,516	—
計	78,806	122,131	30,454	31,209	262,602	△133,516	129,086
セグメント利益又は損失 (△)	1,242	7,121	1,362	△774	8,952	△145	8,807

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

第1四半期連結会計期間において、応研精工株式会社（現：マブチモーターオーケン株式会社）の全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「日本」セグメント及び「アジア」セグメントにおいて613百万円及び46百万円の負ののれん発生益が発生しております。

なお、負ののれん発生益の金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。また、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報）」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。